

西桂の農業発展を目指して ～ふるさと・水と土指導員の取り組み～



来春に咲くレンゲを播く様子



農業体験の様子

氏名…鹿糠 かぬか 定蔵 さだぞう (71)
出身地…岩手県久慈市
趣味…釣り
今後の目標…これからも農業の勉強をして、町内のアドバイザーとして農業指導していきたい。



鹿糠さんへの 特別インタビュー

「ふるさと・水と土指導員」の鹿糠定蔵さんは、山梨県西桂町で活動されています。現在は約1haの田畑で野菜や果物などを栽培しており、農業委員の奥様と共に、町内の農業イベントにも尽力されています。

鹿糠さんは東京で働いていた20代の頃からベランダで園芸を行っており、山梨に移ってからは耕作放棄地を借りて作物の栽培を行ってきました。野菜に加え、花の栽培にも精通しており、西桂町の貴重な農業アドバイザーとして指導をしています。農務事務所主催の講習会にも参加されており、農業に対する強い情熱を持っています。

平成21年からは西桂町唯一の「ふるさと水と土指導員」として活躍しており、「花の郷こせるじやん甲斐プロジェクト」や「田んぼの生き物調査」を実施しています。

今年からは新たに、「てんだうじやん甲斐プロジェクト」として児童館の子どもの農業体験（野菜作り）を支援する活動も始めています。児童館での野菜の作り方は子どもたちに好評で、自分が育てた野菜を食べる楽しさを感じているそうです。

鹿糠さんの活動は西桂町の多くの方に知られています。平成31年度からは町の指導員が2人に増える予定で、活動の輪が更に広がることが期待されます。

～かぬかさんの取り組み～



道路沿いに季節の花を植えています。
道路がきれいに舗装されたことで散歩コースになっており、地元の方の憩いの場所として人気です。



児童館の子どもたちと生き物調査を毎年実施しています。

鹿糠さんが管理する田んぼで生き物調査をしており、メダカやゲンゴロウ等が生息しています。子どもたちは様々な生き物を捕まえて、カゴに入れて持って帰っていました。



西桂町主催のイベントで園児とお母さんがサツマイモ収穫体験をしている様子です。

大きなサツマイモが多く育っており、掘り起こす際に尻餅をつく園児もいました。

近年では野菜がどうやって作られているか知らない子どもがいるようで、児童館では農業体験を行って野菜の栽培について勉強も行っており、鹿糠さんはその指導を行っています。



大きなサツマイモです！

